

令和8年度主催事業 教員対象体験活動指導者研修講座

- 期 日：令和8年8月3日（月）～令和8年8月4日（火）
- 開催場所：英彦山青年の家
- 参加者：19名
- 目 標：
 - 1、体験活動を通して、体験活動がもつ教育的効果への理解を深める。
 - 2、参加者同士の交流・協働を通して、人間関係づくりのスキルと心得を習得する。
 - 3、学校における教育課程の中で、体験活動を実践しようとする意欲を高める。

活動1：体験活動×仲間づくり①



学級づくりにも使えるアイスブレイクを体験。学校では、4月に行うと効果的！！

参加者の緊張も少しずつほぐれていきました・・・。



活動2：講話・演習

How to 体験活動～子どもの非認知能力を高めるため～

社会教育課の大賀雄史先生をお招きし、講話および演習をご担当いただきました。



参加者が協力しながら8種類の火熾しに挑戦。チームワークが深まりました。

活動3：体験活動×仲間づくり②



チームワークが深まったところで、活動①よりも難易度の高い課題解決学習に挑戦！！

参加者同士が積極的に意見を伝え合い、記録更新に向けて意欲的に活動に取り組みました。



活動4：仲間づくり×野外調理体験

班ごとにピザを作りました。どの班も個性全開のオリジナルピザが完成しました。



ただピザを作るだけではなく「買い物」という要素を取り入れたことで、仲間づくりがより一層促進されました。

活動5：キャンドル talk～1日の振り返り～



ビーイングを囲んで1日の振り返りを行いました。暗闇の中にキャンドルの明かりが灯る非日常的な雰囲気の中、参加者は落ち着いて自分の思いを言葉にしていました。

活動6：朝食 ホットドッグ作り

朝食は牛乳パックでホットドッグを作りました。



ホットドッグをアルミホイルで巻き、牛乳パックで焼くだけという、手軽で楽しめるレシピです。



活動7：ネイチャーフィールドビンゴ

英彦山青年の家周辺を散策し、自然を満喫！！



散策の前には、日本に生息するカエルの中でも最大級のヒキガエルに触れる貴重な体験をしました。

活動8：講話 「自然体験活動における遊びの重要性」



福岡教育大学の鈴木邦治教授をお招きし、講話をご担当いただきました。「遊びを学びに変える」をキーワードに体験活動の教育的効果について具体的な事例を交えながらお話しいただきました。

活動9：学びのまとめと交流



二日間の学びをグループでまとめ、体験や講話を通して得た気づきを交流しました。交流の中で多様な視点を共有し合い、学校現場で明日から取り組める具体的な実践アイデアを明確にしました。

《全体を通して》

研修が進むにつれて参加者同士の関係性が深まり、活動の中で自然と人間関係づくりのスキルを身につけていく様子が見えてきました。特に、体験活動を通して互いを認め合い、安心して協働できる雰囲気が形成されていったことは、本研修の大きな成果であると感じています。終了後のアンケートでも、「相手を認め、尊重し合うことが楽しく活動するためのベースとして大切だと思った。」「初対面の人でも、短いレクリエーションをいくつか行うことで仲が深まり、協力して活動できるようになりました。」といった声が寄せられました。

今回の研修を通して、参加者の皆様が体験活動のもつ教育的効果を改めて理解し、学校における教育課程や日常の学級経営の中で、体験活動を積極的に実践していただければ、主催者として大変嬉しく思います。